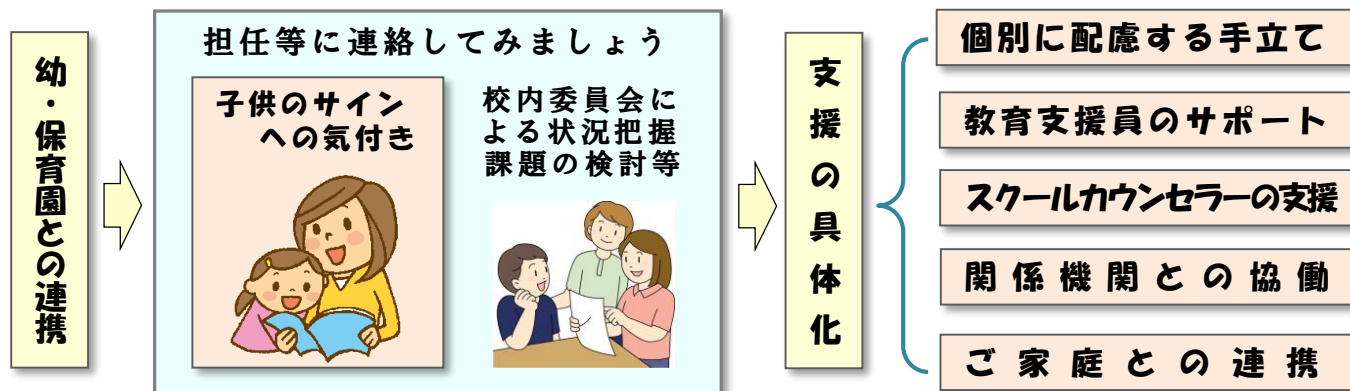
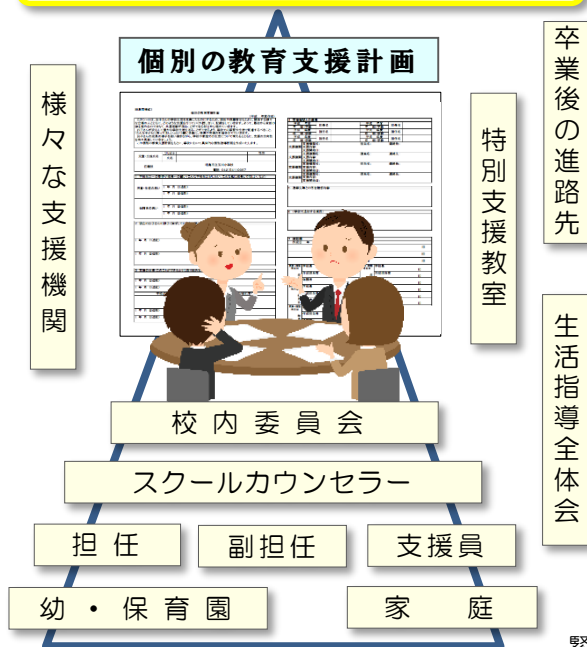


その子供に応じた教育支援を考えます



学校だからできる様々なアプローチ

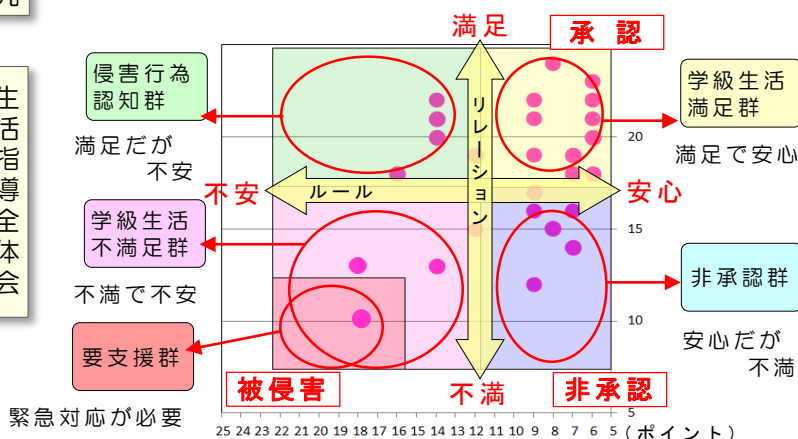
関係者が継続的に関わる支援



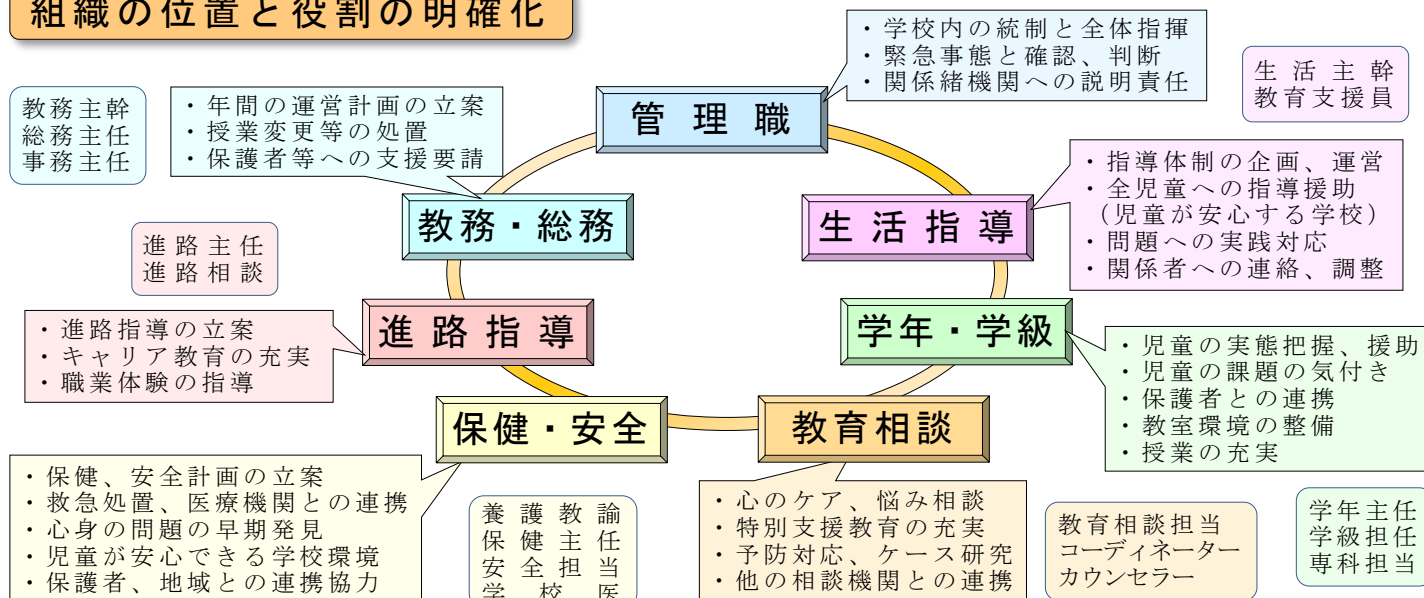
客観的な調査法を用いた児童理解

【楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U】

「学校生活意欲」と「学級満足度」の2つの尺度で構成する学級診断アセスメントです。下図の●が児童一人一人を表します。個と集団との関係性から、児童理解を深めています。



組織の位置と役割の明確化



STEP 3

STEP 3 校内委員会を中心に全校体制で支援します

一人一人に適した特別な支援が受けられます

様々な『人』が支援します

学年・学級担任・副担任など（教員）
ユニバーサルデザインの考えに基づき、児童にやさしい環境や指導に努めます。

特別支援教育コーディネーター（教員）
特別支援教育の企画運営、校内外の連絡調整、相談窓口等の役割があります。

特別支援教室専門員（専門職員）
校内外と連携して特別支援教室の円滑な運営を図ります。週4日間勤務。

スクールカウンセラー（臨床心理士）
心の専門職として、子供や保護者が気軽に相談できます。毎週木曜日。

巡回相談員（臨床心理士）
市の相談員が、児童の発達の特性等を捉え、支援体制や方法を検討します。

スクールソーシャルワーカー（福祉士等）
社会福祉等の専門家で、児童を取り巻く環境（医療や福祉等）に働きかけ支援します。

教育支援員（校内に配置）
特別な支援や配慮を要する児童のニーズに応じて個別の支援を行います。

特別支援学校（あきる野学園）
地域支援センターの専任コーディネーターが教員研修や相談に応じます。

その他、様々な教育支援があります。
まずは、ご相談下さい。

様々な『場』が支援します

〔校内委員会〕
全校的な支援体制を確立し、児童理解や支援方法等の検討を行います。

〔大空学級〕（特別支援教室）
毎週水・木曜日、校内で通級し、自立支援活動等を中心に指導します。

〔さくら学級〕（特別支援学級）
通常級の学習内容に加え、人間関係の形成や身体の動き等を学びます。

〔きこえとことばの教室〕（難聴言語教室）
きこえとことばに心配のある児童のニーズに応じて必要な支援をします。

〔たまがわ〕（適応指導教室）
登校できなくて悩んでいる児童を、学校復帰に向けて支援します。

〔すぎのこ〕（つつじが丘小学校内）
認知や言語に関わる知的機能に遅れのある児童に必要な支援を行います。

〔教育相談室〕（昭島市）
児童や保護者の悩みや心配事に応じます。医療との連携、家庭訪問も可。

特別な支援が必要ではないかと思われるお子さんや「困り感」を抱いているお子さんのために、どんな手立てができるかを御一緒に相談していきます。お気軽にご相談ください。

一緒に考えていきます

スクールカウンセラー（SC）は、毎週木曜日 8：15 から 16：45 まで勤務しています。お子さんの学習のこと、友だち関係のことなど学校生活のことだけでなく、子育てのこと、気になるクセのことなど、どんな小さなことでも一緒に考えていきます。

相談希望の方は、様々な方法でOK

- 養護教諭（特別支援教育コーディネーター）や特別支援教室専門員、担任、副校長等を通して予約する。
- 来校又は教育相談室直通電話で、SCに直接予約する。 042-541-6718
- 電話でSCに予約する。（学校の共用電話から、SCまで匿名でおつながりすることも可能です。）
- 校長のふれあいポストを通して予約を依頼する。